

第75回卒業式 学校長式辞

雪で覆われた富士山を望むことができることに由来しているこの雪谷の地において、皆さんの卒業を名残惜しむかのように降る雪の中にも、校内の草木の芽吹きに春の訪れを感じられる今日の佳き日に、東京都立雪谷高等学校全日制課程第75回卒業式を挙行できますことは、卒業生はもとより、在校生、教職員にとりましてこの上ない喜びであります。

本日は、東京都議会議員 鈴木 章浩様、東京都議会議員 もり 愛様、本校学校運営連絡協議会委員、同窓会、PTA役員の皆様、並びに多くの保護者の皆様のご臨席を賜りましたこと、高い席からではございますが、教職員を代表して心より感謝申し上げます。

ただ今卒業証書を授与しました270名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。雪谷高校での3年間はいかがだったでしょうか。かけがえのない青春の一時を本校で過ごし、こうして立派に成長して巣立っていく皆さんは大変素晴らしく、誇らしさにあふれています。

皆さんが作られた卒業文集を一人一人の顔を思い浮かべながら読ませていただきましたが、楽しかった高校生活を一緒に送ることができた友への感謝の気持ち、部活動に全力で取り組んだことへの熱い思い、人間関係や進路に悩みながらも自分の殻を破ろうと新しいことに挑戦したこと、辛かったことや挫折したことも含めての今の自分があることなどなど、皆さんがいまに真摯に向き合い、高校生活を全力で走り切った思いが伝わってきました。

また、皆さんの成長を心待ちにし、深い愛情で見守っていただいた保護者の皆様には、心より敬意を表します。今日のお子様の姿をご覧になり、さぞかし感慨もひとしおかと拝察いたします。

さて皆さんは思い起こせば3年前、期待と不安を胸に雪谷高校に入学

してまいりました。私も同じ時期に校長として赴任しましたので、校長としてのこの3年間は皆さんとともに歩んできた3年間でもあります。

朝の正門でのあいさつから始まって、授業の様子、放課後の部活動や学校行事など、その一つ一つの場面における皆さんとの触れ合い、笑顔で交わした会話が今でも鮮明に思い出されます。一緒に行った沖縄修学旅行では、大雨に見舞われながら見学した首里城や、集合場所を間違えて不覚にも初めて迷子になってしまったオスプレイ基地の見学などが特に印象に残っています。

コロナ禍だったからでしょうか、入学当初は元気がなく、挨拶もあまりできずに、行動もどことなく幼さを感じていました。しかしながら、学年が進行するにつれ、自分でしっかりと考え主体的に行動できる生徒が増えてくるのと同時に、学年としてのまとまりが出てきたように感じていました。体育祭や文化祭などでは中心的な役割を担い、引退のかかった公式戦では懸命に戦う姿を見せて、後輩の良き手本となってくれました。私は、このような皆さんのひたむきで一生懸命頑張る姿、成長していく様を見るのが何よりも楽しみでもありました。この嬉しかったことも、悲しかったことも、辛かったことも、一生付き合える友との出会いも雪谷高校で経験したこれら全てのことが、今後生きていく上での大切な経験となったはずです。ですから、自信を持ってこれからの輝かしい未来を歩んでいってほしいと思います。

今後は、それぞれ選択した道で大いに活躍をして欲しいと思っています。そして何より、幸せな人生を歩んでほしいと心から願っています。

幸せな人生を歩めるかどうかは、自分の考え次第です。現状の失敗を不幸だと思うか、成長のチャンスだと思うかによって、その後の道は大きく変わります。苦しい時や壁にぶつかった時ほど、物事をポジティブに捉えて挑戦することが必要です。「楽しいことをやる」のではなく「やることを楽しむ」という姿勢が必要ではないでしょうか

それと周りの人々への感謝の気持ちも忘れてはなりません。どんな時にも、信じて支えてくれた人々がいたから、乗り越えられたことがたくさんあるはずです。幸せは、周りの人との関わりの中で実感できるものです。自分のやっていることが人から感謝されたり、世の中の役に立っていると感じられたりすることで味わえるのではないのでしょうか。

でも一番大切なことは、まず自分が幸せになることです。今までの頑張りに誇りを持つことです。たとえうまくいかなかったとしても、その時その時を全力でやり続けたからこそ、今があるのです。自分に感謝して、自分を誇りに思って、心を幸せいっぱいにしてこれからの輝かしい未来を歩んでいってください。皆さんそれぞれが自分らしく、さらに大きく成長することを願っています。そして、もし仮に道に迷うようなことがあった場合、いつでもこの仲間のところに、母校に立ち帰ってきてください。それこそが『チーム雪谷』の本当の力だと私は信じています。

結びに、保護者の皆様には、このコロナ禍を含め様々なご心配されながらの三年間ではあったかと存じますが、本校の教育活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。本日、成長著しいお子様を保護者の皆様と一緒に送り出せましたこと、心より感謝申し上げます。

それでは卒業生の皆さん、皆さんの洋々たる前途が健やかで幸多きことを祈り、式辞といたします。

令和六年三月八日

東京都立雪谷高等学校長 豊岡 耕一郎